このクオリティ、
これぞ四季賞、
才気が疾走する54ページ!!
斉藤誠 高3
審査員
萩尾望都氏激賞
「キャラの表情がものすごく良い。『このコマはこの顔だ』としか言えないほどバッチリきまっている。見えないものや辿りつけない所に手足を伸ばそうとするのを表しているタイトルも秀逸です」
海の向こう、月の裏側
アフタヌーン四季賞
2015年・秋のコンテスト
大賞受賞作品
下川咲

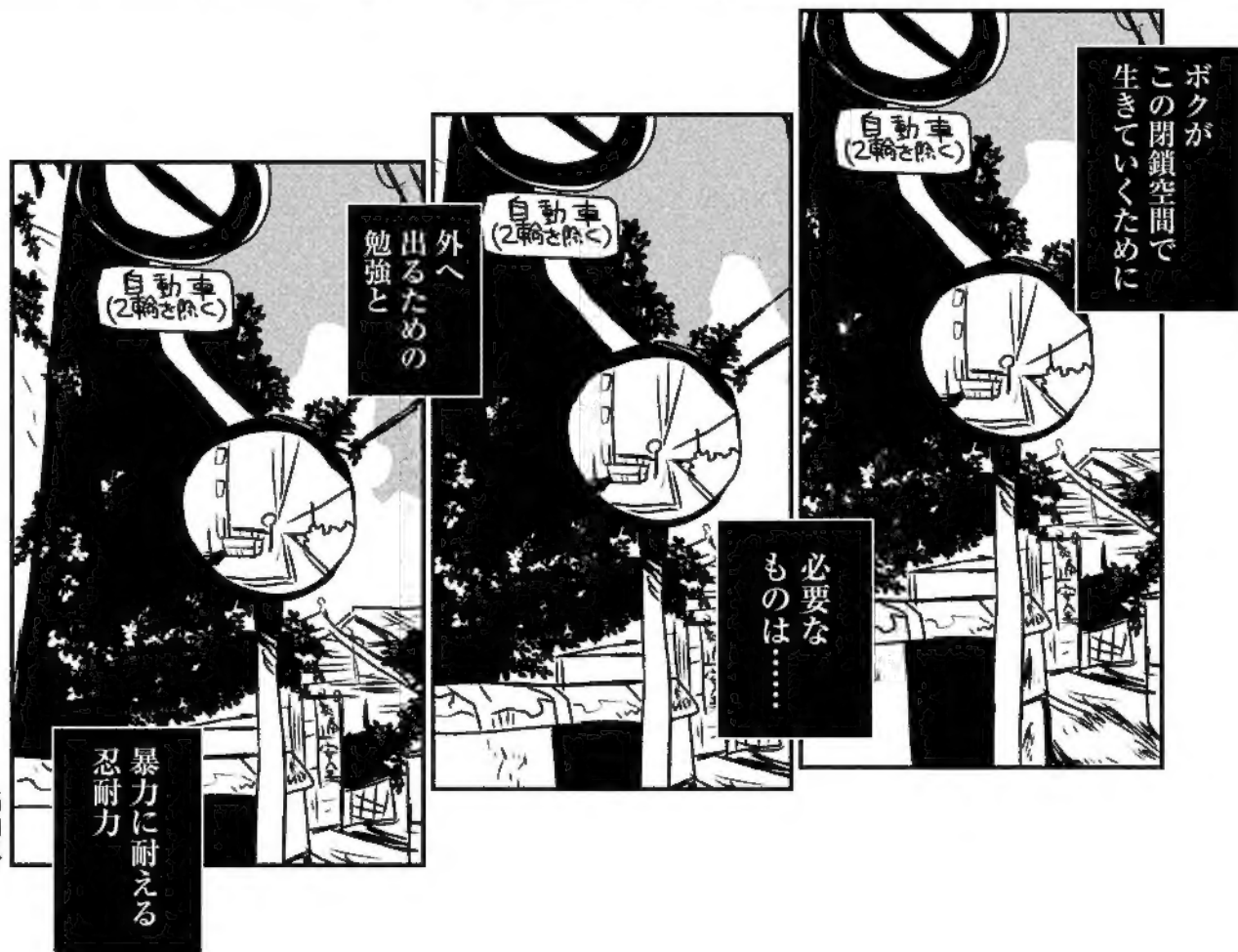
物語は海沿いの田舎町から始まった――。

いじめられっこ

ボクが
この閉鎖空間で
生きていくために

必要な
ものは……

外へ
出るための
勉強と

暴力に耐える
忍耐力

なぁにアンタまた

狭山(さやま)弓彦(ゆみひこ)同じく高3

いじめられたの？

通称ユミちゃん

かっこのつかない子ねェ

でもメガネは無事

最近の不良は知ってんねん

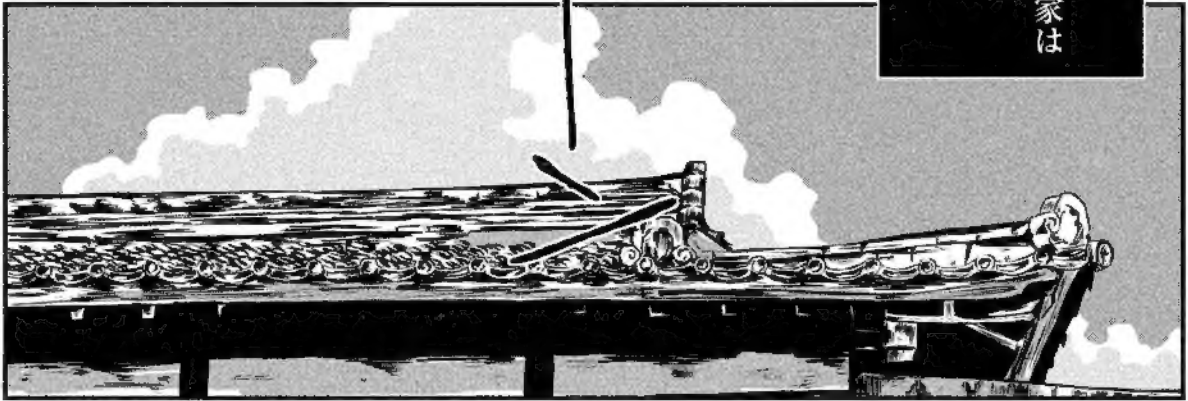
身体(からだ)は傷つけても治るけど

物は傷つけたら直らへんっちゅうのを

せやしまずは取ってくれよるわ

とりあえずうち来なさいよお

そんなんじゃ帰れないでしょ手当てしてあげる

ボクの唯一の友だち

まずユミちゃんの
一つ上の
洋子姉ちゃんが
家で首を吊る

それを見て
驚いた親父さんが
転んで頭を
強く打つ

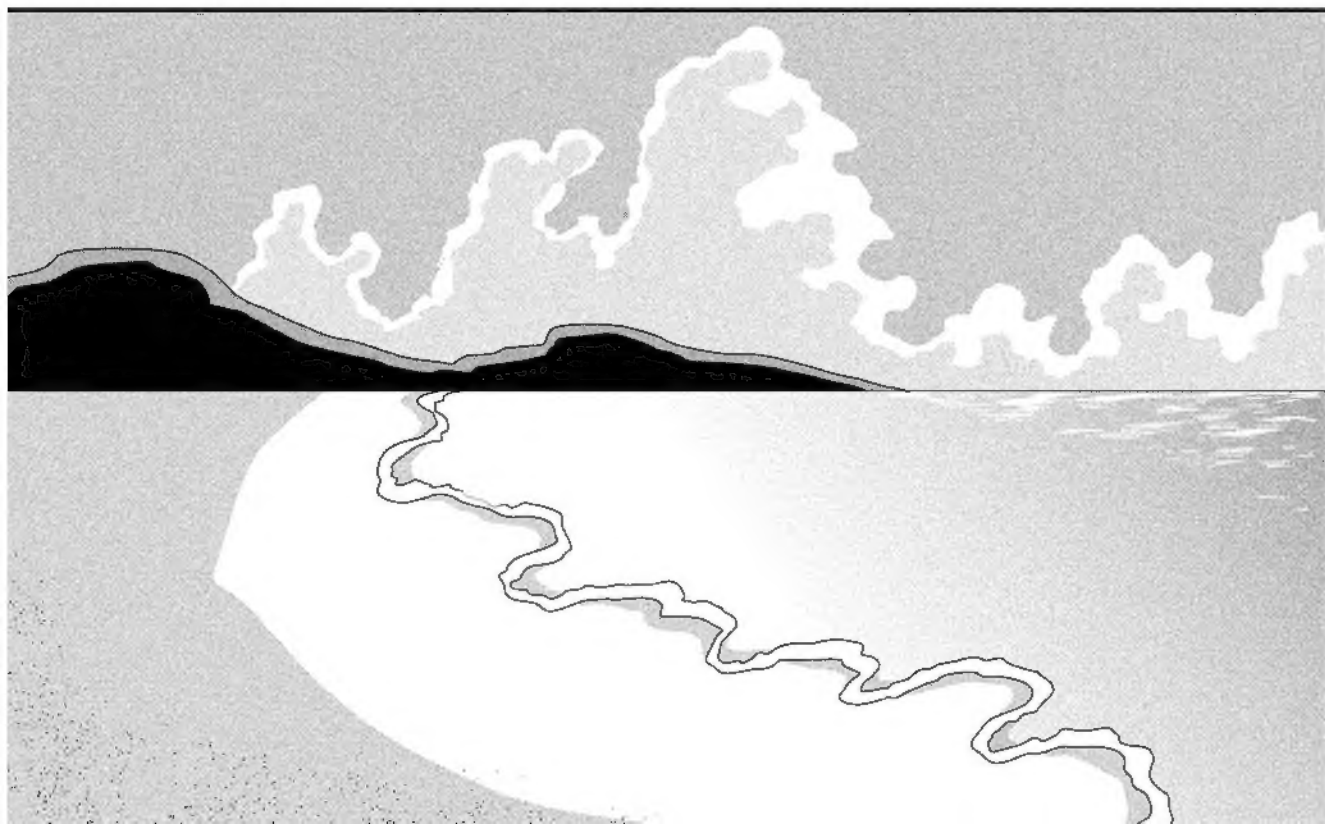
その打ち所が悪かったとかで
今も身体が上手く動かない
親父さんどう？
おかげさまで相変わらず
夢とこっちを行き来してる
お袋さんはユミちゃんを産んですぐに亡くなってるので
アタシとしてはずっと寝ててくれたほうがいいわ
痛い
ガマンして
起きたら恨みつらみばっかり
ね
ホント
イヤになっちゃうのよ
ユミちゃんは親父さんと二人暮らしだ

6

うぅ………
う………
お父さん
起きそう
………
出ましょうか

誠ちゃん
クラゲよ
クラゲ

ザザ

ザザ

刺されたら
大変ね……

ゴクリ

て言いながら
こっち持って
くんなや

アハハハハハハ

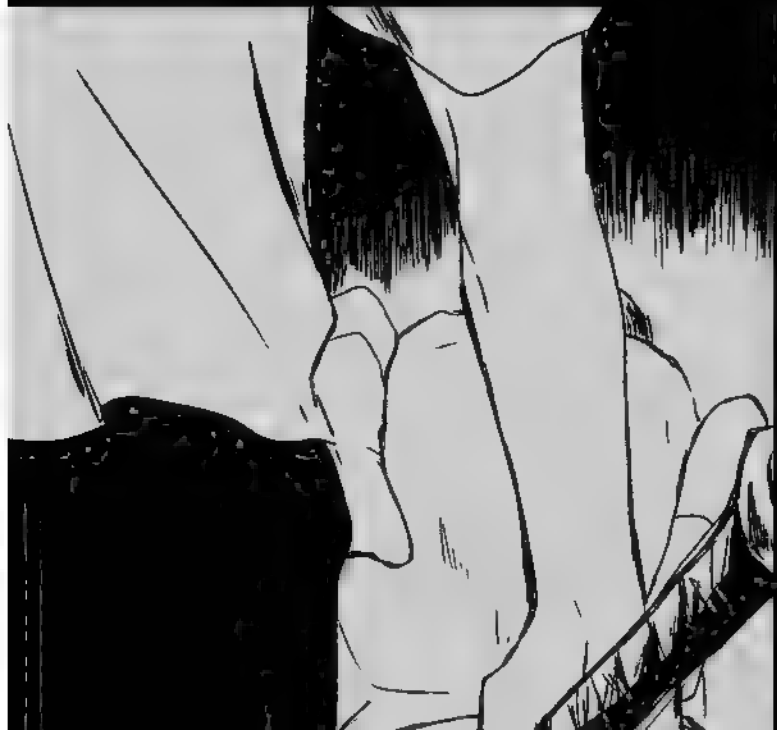
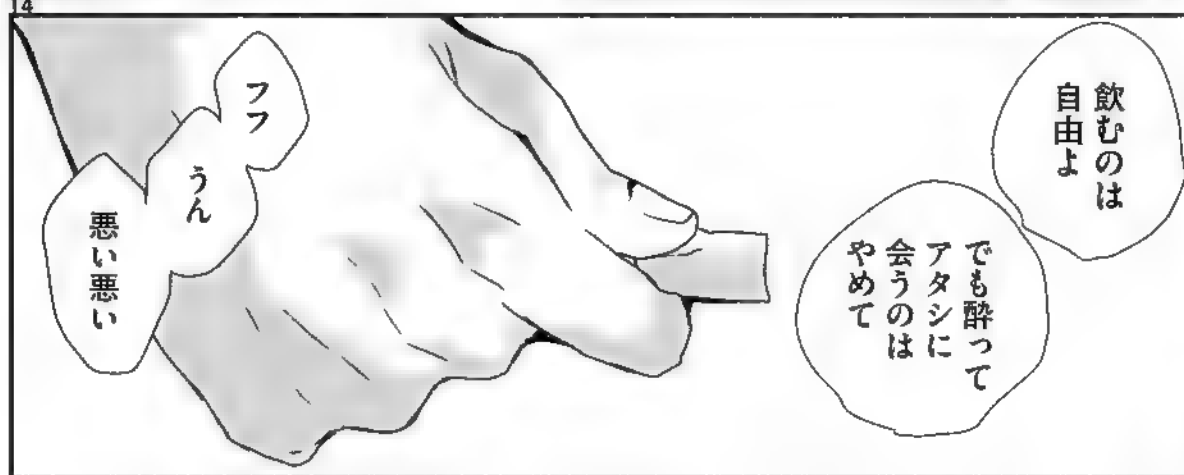
ザァ
貝！
かわいそうに流されてきちゃったんだわ
や
このテの貝は浜で生きんねん
しかも
空き家
やだ倒壊したら危ないわネ
砂詰めなきゃ
なんでや？
じゃないと飛べないでしょ
どこに？
海の向こう側

あー
落ちた
無理や

奴も どこにも
行かれへん

ザァ…

ザァ
思い切りが足りなかったわね
どういうこっちゃ
ザァ

おう
不良の嬢ちゃん
こんな時間まで夜遊びたァ
親不孝やぞ
アタシがいないほうがよっぽど親孝行なのよ
おにぎり100円セール
ハハ

うぃ〜〜〜…
やだちょっとアンタ酔ってンのね
最悪
ユミにはまだ分からんやろうけどや
大人っちゅーのはなァ
飲まなやってられんもんやって
ふざけないで
ぐい
アタシ酒飲みがこの世で一番キライだわ
あ――…
せやったな
お前は…
飲むのは自由よ
でも酔ってアタシに会うのはやめて
フフ
うん
悪い悪い
月刊アフタヌーン
次号1月号は11月25日(水)発売!!

ね
アンタもさ
いつも
やられっぱなし
じゃなくて
たまには
やり返しなさいよ
ケンカの
やり方
わかんないの？
教えて
あげましょうか
ボクが傷つく
だけなら別に
ええねん
ガマンしとけば
全部 通り過ぎて
いくから
ヒトを
傷つけるん
だけは
どうしても
あかんやろ……
……それは
誠ちゃんに
意気地が
無いだけじゃ
なくて？

何とでも言うてや
ボクは暴力は好かんねん
ナンセンス
見た目のまんまの発言ね
アタシよりカマ臭いわよ
そのうえ傷だらけでダッサいい
言い過ぎやろ
せやけどしかし
もし誰かがユミちゃんを傷つけるようであれば
そいつ
ボクがぶん殴ったたってもええ
…なに誠ちゃん
アタシに惚れてンの……
せやのぉて～～
誰かのための暴力なら時として正義やと思うねん
プッ
じゃ楽しみにしてるわよ正義の味方さん
あはは
いや
ホントホント

たまに嫌になるわ

奇麗なのよ彼

誠ちゃんてばアタシと幼なじみなのに

世界が違うの

キレイゴトだけで生きてられるの

我慢してれば通り過ぎていくものばかりじゃないのに

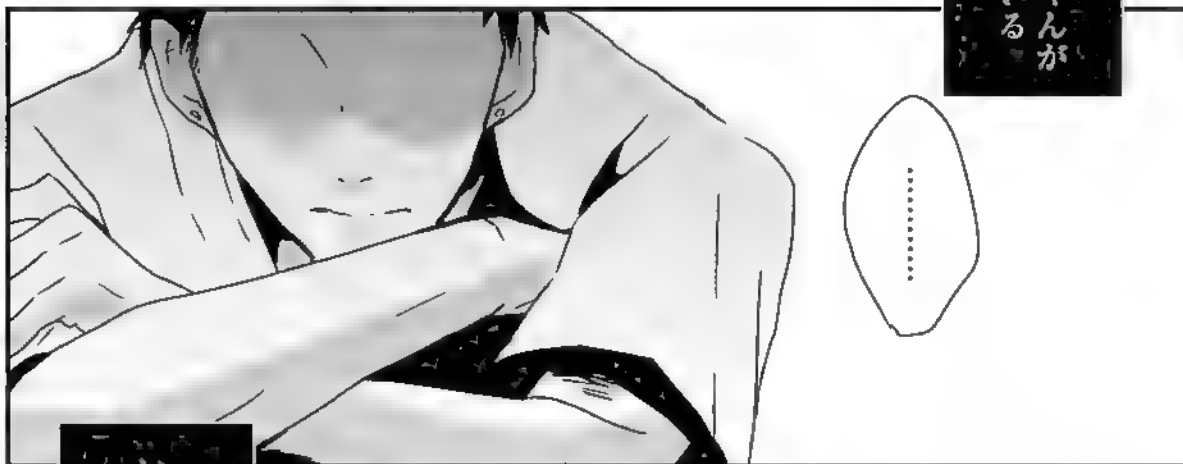
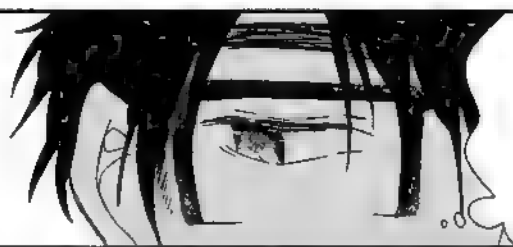
アタシはサイテーな父親に縛られて

自由になれないずっと不幸なままなのに

お前の親父最悪やもんな

じゃあよ

んなクソ野郎ぶっ殺して好きに生きりゃあええやないか

はぁ!?
あっはっは
殺しちまえ 殺しちまえ
あ…
貴方ねェ……
酔ってるからって…
ボクは
いや ほんま ユミ かわいそうやわ
なァ
自由になったら ええやん
オレが一緒に 逃げたるよ
一緒に 何もかも
知らない
パッと 台無しに したらええ
二人で どっか遠いとこ 逃げたらええ

ユミちゃんが
抱えている
……
いろいろなこと
やっぱ高3やな
集中講座
追い込み
キツいわ
闇とか
光とか
やめときゃ
ええのに
あんな男

知らない

この先もずっと
ユミちゃんと
素晴らしい季節を
過ごしたいから
本……
いつか
誠ちゃん
忘れて帰った
のね

ガタ
ガタ…
ガタ…
うー

知らないままがいい

カナ
カナ
カナ
カナ
カナ…
うー…
ううう…
親父
起きたんか
………
昔は…
あぁ……昔は
よかった…

昔は何でも持ってたわ

酒

従順な女

何でもオレの思い通りやったなァ

洋子も……

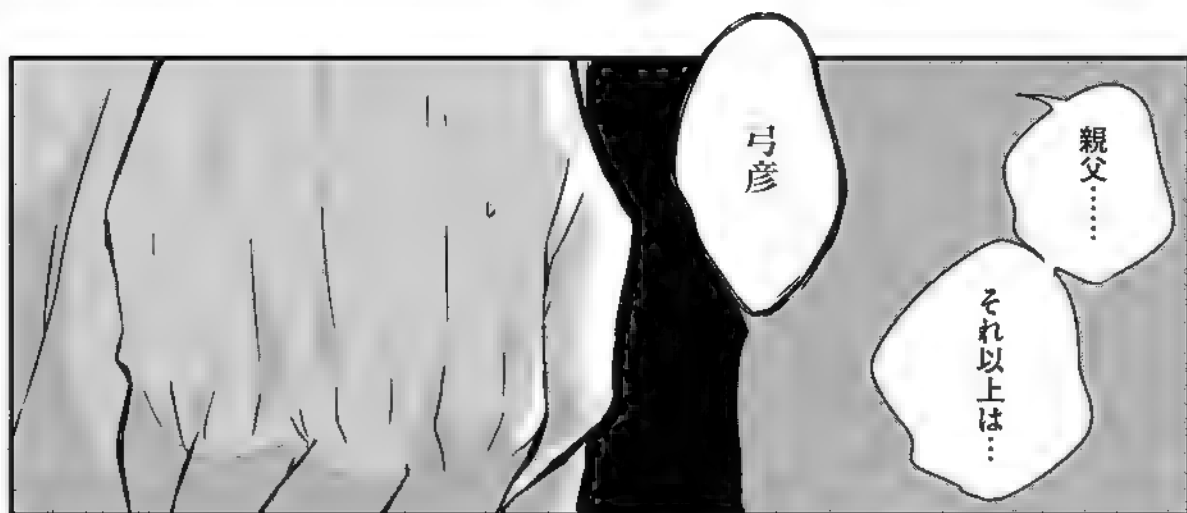
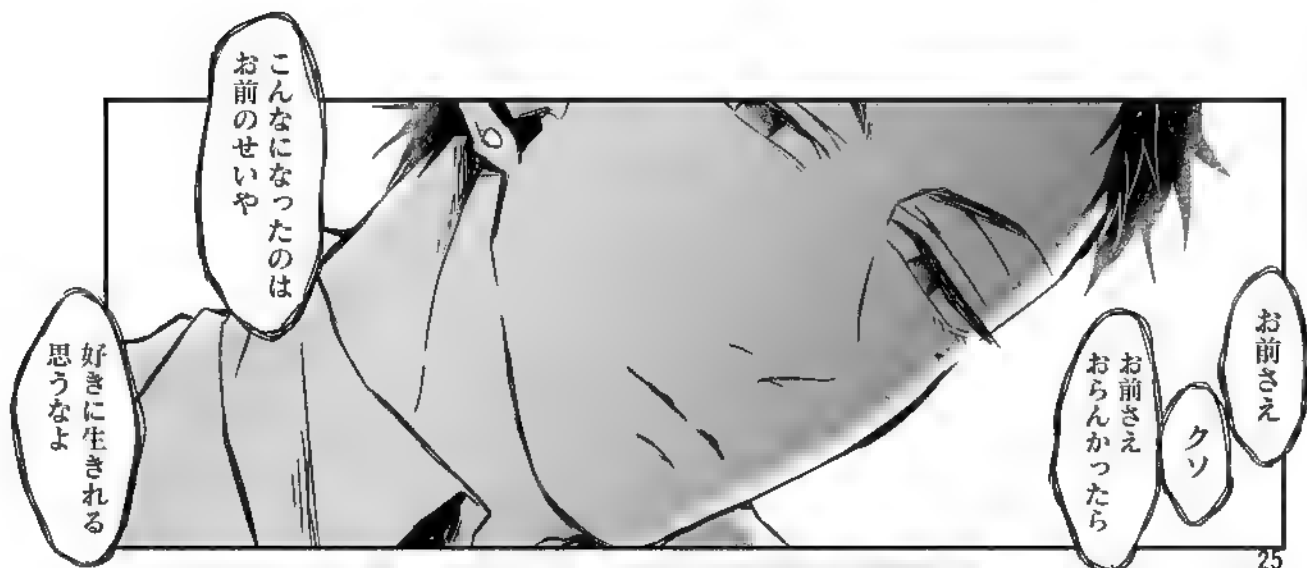
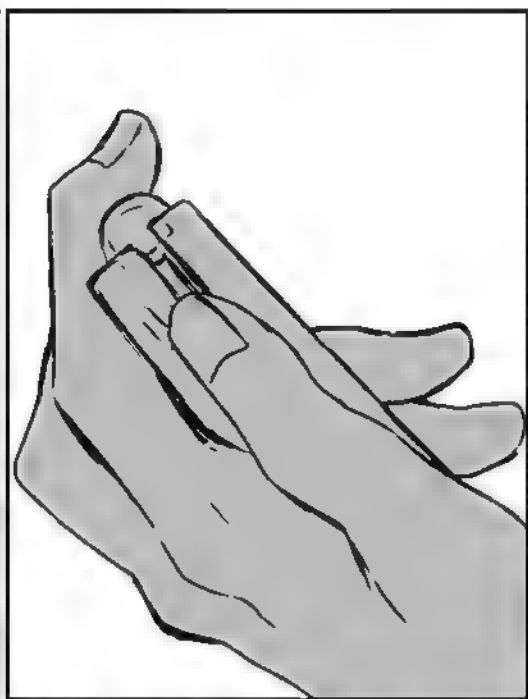
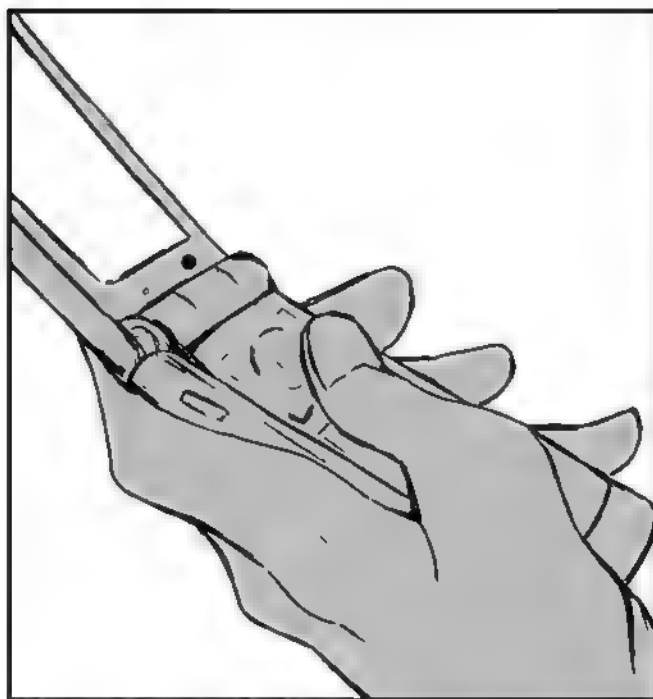
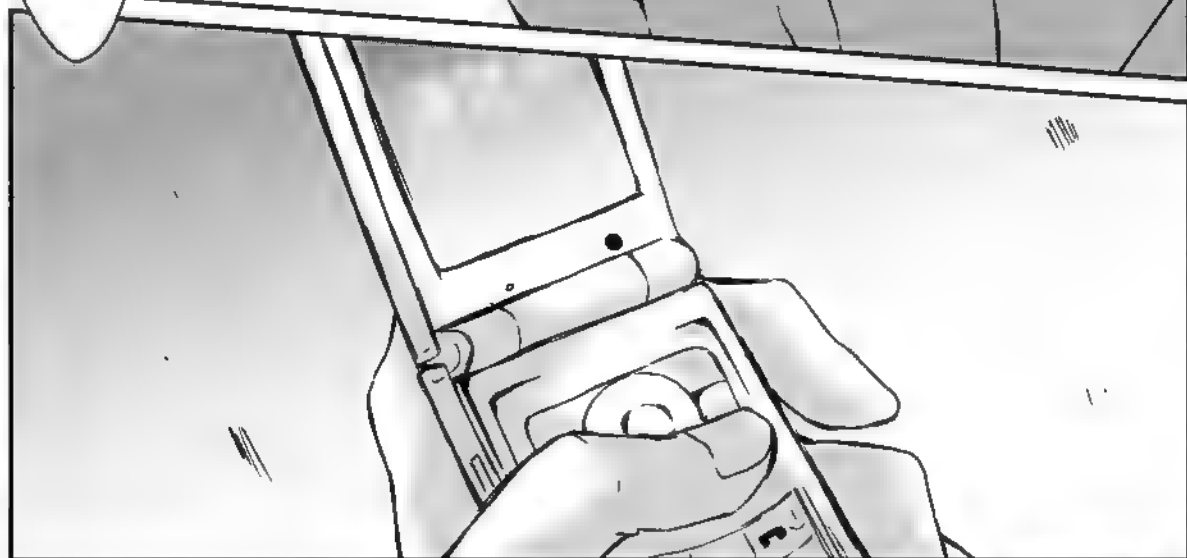
23

親父……
それ以上は…
弓彦
勘弁してくれや……
ほんまに…
お前もや
あかんなる……
親を
こないな身体に
しくさって
憎い
憎い
お前なんで
生まれてきたんや

お前さえ
クソ
お前さえおらんかったら
こんなになったのはお前のせいや
好きに生きれる思うなよ

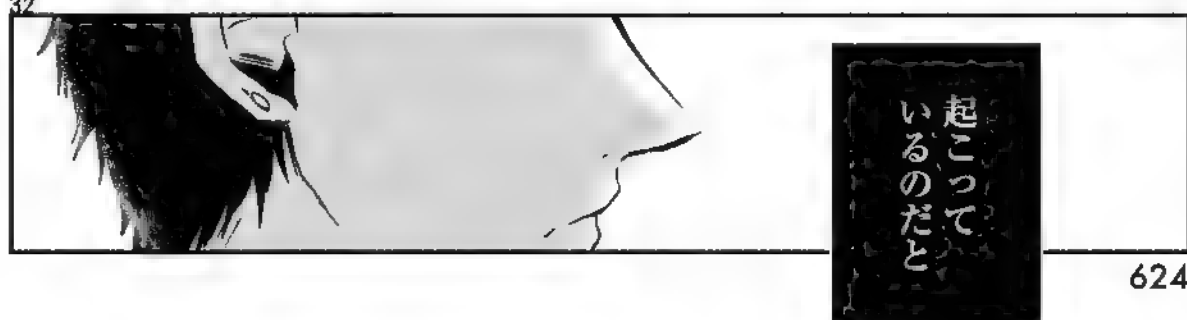
25

お前は一生
オレの奴隷や

うん
うん…
わかった……
明日
必ずね……
ええ…

ユミちゃん
ありがとう……
アタシには本当に貴方だけだわ……

月が
キレイやで

……誠ちゃん
どうしたの？
ほっ 本
こないだ
置いて帰ったみたいで……
あぁ…
あれ？
はい
あ
ありがとう
と思う

なんで
仏壇
閉じてンのや……
違和感
まずい
ことが
……
今日は親父さん
静かやね……
起こっているのだと

なァ
ユミちゃん
蝉が
うるさい
どこ行くんや?
思考が
まとまらない
オーストラリア
もう
ここには
戻らないの

一つだけ
さよならだわ
誠ちゃん
確かなことがある

アホぬかせ
行けるかンなトコ
やだァうるさい だから言いたくなかったの
茶化しとる場合か
大きい声出さないで

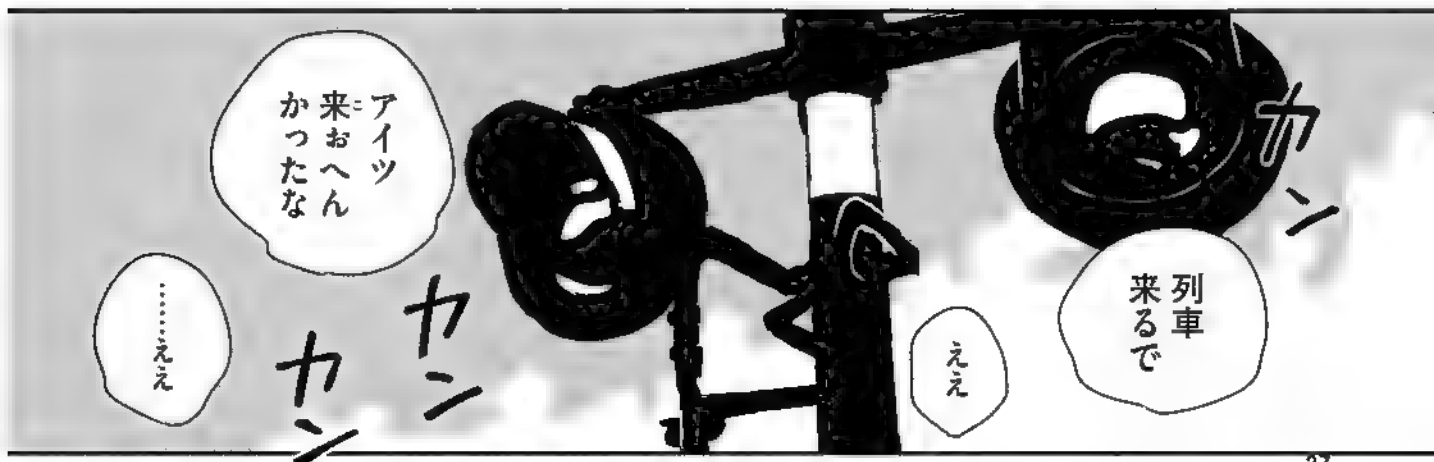
今どき
逃避行なんて流行らへんよ
流行る流行らないでやらないわよ
なァユミちゃん考え直してさ
無理よもう戻れないの

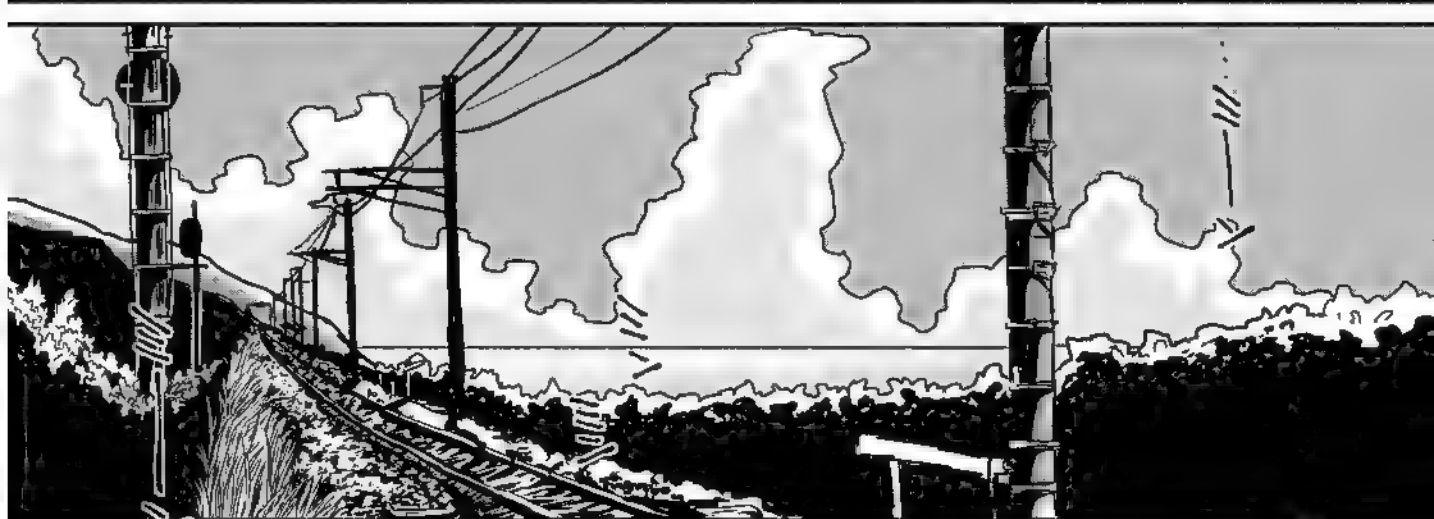
誠ちゃんとお別れは寂しいけど
ここ ホントにロクなとこじゃなかったから
嬉しいわアタシやっと自由になれるの
お姉ちゃんも自殺なんかしなけりゃ今頃一緒に……
アタシを置いてなんで自殺なんか…
もう信じらんない
そしたらさアタシ一体何のために…
……バカみたいじゃないの
あーあ……
アタシってどうしようもなくて
こんなだし
だからお姉ちゃんも連れてってくれなかったのね
なぁユミちゃん
ボクは
きみのために誰を殴れば
ええんやろか

カン
カン
列車来るで
ええ
アイツ来おへんかったな
カン
カン
……ええ

ユミちゃんどないするの？
行くわよ成田
そこで待つわ

彼
きっと来てくれるわ
よくあることだもの
彼が待ち合わせに遅れるって
ね
誠ちゃん

「ずっと待ってるから」
「早く来て」
って
ガタン…。
ガタン…
ガタン

ユミちゃん
逃げろ
男なんか待つな

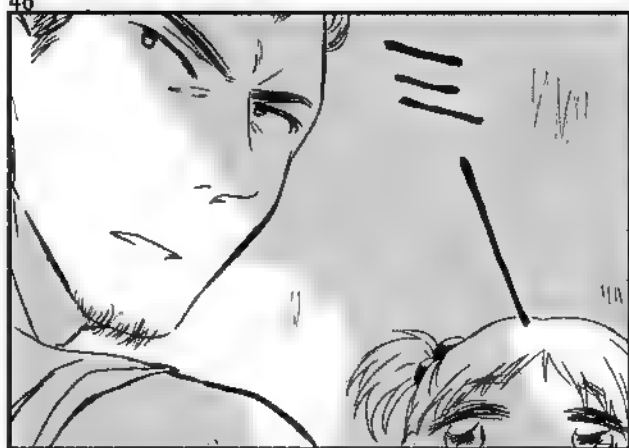
どこでもええ
海の向こうでも
月の裏側でも
どこでもええから逃げてくれ
ボクが
ボクがきっと迎えに行く
幸せにしたるから

ユミちゃんは
きっと不幸になる

その日のうちに
ユミちゃんの
親父さんが
保護される
頭から血を流して
近所の人に助けを
求めたらしい
ユミちゃんは
やり損なったのだ
ボクは
ちょっとだけ
安心する
ユミちゃんが
東京で警察に
捕まる
小さな田舎は
マスコミで
ごった返す
未成年なので
実名報道は
されない
ボクも
関係者だとかで
ちょっとだけ
事情聴取とか
受けたりする
オール
「何も知りません
わかりません」

狭山クン
どんくらいで
出られるん
ですか？
さァな

それだけ

終わり

それからボクは
高校を出て
何となく
大学に行く
ミーン
ミンミンミン
そのまま
ありきたりに
田舎に戻って
適当な職に就く

つまらない大人になる
結局どこにも
行けやしない
ミー

ミーーン
パパぁ
だれー？
ミーーン
こんな偶然 いらねえよ
フーン きみ 弓彦の トモダチ やったんか
ユ
あ
はぁ
ユミちゃんのこと 覚えてるンですね
おう 覚えとるよォ
田舎じゃ わりと劇的な事件 やったしなァ
あの
ユミちゃん
なんで東京で 捕まったか わかります？

は？
待ってたんですよ
成田で
多分
ずっと
貴方のこと
ボク
なァきみ
ユミちゃんのこと見送って
オイ待てや
コラ
言うとくがオレも被害者やぞ
何遍も聴取受けて散々な目に遭うた
今は家族もおんねん考えろや
アイツの話は迷惑や
なんやそれともお前
オレのこと強請るつもりか？

「待ってるから」
「早く来て」
あっいや
そんな
つもりじゃ…
ボクはただ
単純に……
ユミちゃんが
ずっと貴方を
待ってたって
ことを……
そうですよね
困りますよね
すいません
急に……
はは
ユミちゃん
ったく
胸糞悪いこと
思い出させんなや
やっぱりね
あーあ
禁煙
しとった
のに
あ
でも
すんません
最後に
一つだけ
あ?

きみ
男見る目
無いわ
ボカッ
ボクに
殴られる
とか
ダサ過ぎ
勘弁して
とか
考えながら
もう一発
パ
キャッ
この男からすれば
殴られる意味が
わからないだろう
この暴力は
わりと理不尽だ
だからどうした

もっと早く
教えとくべき
やったね

ボクは今も
暴力なんて
クソやと
思ってるよ

特に
それが大義名分
振り翳しちゃったり
してる時なんて最悪

わかってる
わかってるよ

ボクのこれも
エゴです

もうほんま
ボクの強烈なエゴで
全部メチャクチャ
嫌ンなるわ

大事なメガネも
割られてもうて
笑えるやろ

でも今だけは
ごめん

こんなん
これっきりに
するから
ほんまに
今度だけは

ユミちゃん
可哀相やろうがァッ

で…
ボクは逃げる

スーツはボロボロ大出血
大ニュース「田舎の善良な父親ノックアウトされる」
キャッチはそこそこ
どこからどう見ても文句なしの不審者

すぐ警察に捕まるだろうけど
ボケっとすんじゃねーぜマスコミども

53

逃げる
どうかボクの名前を声高に報道してくれ
海の向こうへ
月の裏側へ

ユミちゃんまで
伝わるように！

どこかの果てで、
きっとまた会える。

下川咲さんの次回作に
ご期待ください。